

# 令和5年度久留米市社会福祉協議会事業報告

久留米市社会福祉協議会が推進する地域福祉活動に影響を及ぼしていた新型コロナウイルス感染症の流行は、令和5年度には第5類に移行し、活動も少しずつ平常を取り戻し始めました。

しかしながら、市民生活においては、新型コロナウイルス感染拡大、ウクライナ、ガザ等の紛争をはじめとする世界的な物価高による経済的・社会的影響は継続しています。例えば、生活困窮世帯への特例貸付（新型コロナ）は、久留米市内だけでも総申請件数が延べ1万2千件を超えました。令和5年1月から貸付期間に応じて償還（返済）が始まりましたが、償還が困難な方からの相談が多く寄せられています。

このような状況のもと、地域福祉活動のあり方や複数の生活課題を抱える世帯への継続的な支援などが求められています。

久留米市社会福祉協議会では、令和5年度の基本方針を、（1）あらゆる生活課題への対応、（2）地域のつながりの再構築、（3）地域から信頼される組織づくりと定め、主要事業、事務局体制に関する取組、財源に関する取組の合計10項目を中心に活動を進めました。

なかでも、久留米市から受託している「多機関協働事業」と「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」を活用し、断らない相談支援や伴走支援などに注力し、課題解決に向けて取り組んでまいりました。

また、7月の豪雨災害に際しては、災害ボランティアセンターを開設し、県内を始め九州管内社会福祉協議会、災害NGO、NPO法人、企業・団体、ボランティアなど多くの協力を得ながら、被災された世帯の生活環境の回復に取り組みました。

併せて、災害ボランティアセンターを閉所した後も、被災世帯や生活困窮世帯等に対する相談支援、食料支援などに取り組んだところです。

令和5年度の事業実施状況は以下のとおりです。

## I 主要事業

### 1 地域福祉活動の推進支援

#### （1）「くるめ支え合うプラン」の地域展開

各コミュニティ組織や校区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、支え合い推進会議等に対して、各種会議や学習会の場を活用し、校区福祉活動計画策定に向けた働きかけを行いました。

また、策定した計画に基づき具体的な取り組みを実践するとともに、適時進捗確認を行いながら、地域福祉活動を進めています。

なお、校区の取り組み方は多様で、校区社会福祉協議会が支え合い推進会議に意見を求めたり、計画策定委員会や計画検討会議等を設置したり、支え合い推進会議を中

心に計画策定に取り組んでいます。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
策定見直し支援	新規 15 校区	新規 4 校区 累計 28 校区（内、23 校区策定済）

(2) 見守りや支援の対象者を広げる

校区社会福祉協議会やふれあいの会などが行う地域福祉活動について、校区の実情に寄り添った助言や支援を行いました。

ボランティアスクールや、支え合い推進会議の学習会等では、支援を必要とする世帯の現状と課題を共有することで、見守りや支援の対象者が広がるよう、働きかけました。

コロナ禍の影響で活動が停滞しているいきいきサロンなどの活動が活性化するように、主催する校区社協やふれあいの会へ、本会で作成している冊子「サロンお役立ち情報」などのプログラムを提供しました。

校区社会福祉協議会やふれあいの会に対し、各校区独自の取り組みをまとめた「つながるスイッチ!!」等を用いて子どもや生活困窮者などを対象とした取り組みを紹介し、高齢者以外を対象とした取り組みの検討を働きかけました。

また、コロナ禍や7月の水害を契機に顕在化した生活困窮者・世帯に対し、課題解決に向けて寄り添った支援を展開しつつ、食料支援の実施、支援団体へつなげるなど取り組みました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
ボランティアスクール等の実施	各校区 2 回	36 校区 84 回
見守り訪問活動	延べ 243,000 回	(集計中)
いきいきサロンの設置数	300 か所	312 か所（内新規 12 か所）

(3) コミュニティ組織との新たなネットワーク化

すべての校区に支え合い推進会議が設置されたことを受け、改めて支え合い推進会議の意義等についての説明を行いました。

各校区の支え合い推進会議で特色のある協議が展開され、その結果、日常生活を営む上でのちょっとした困りごとを解決することを目的とした生活支援活動団体の立ち上げに繋がったほか、既存の仕組みや活動を活用し地域の課題に対応できるよう協議が深められました。

各校区の取り組みを周知するため、校区広報紙掲載の促進や、各校区の支え合い推進会議の取り組み等を紹介するチラシ「つながるスイッチ!!」を活用し、多くの地域住民に地域での福祉活動を伝えられるよう取り組みました。

#### 【実施状況】

実施項目	計画	実績
新たな生活支援活動の 立ち上げ	2か所程度	2校区 (合川・大城)

#### (4) 興味や関心事を軸として集う市民グループや経済団体等との連携

世代を超えて人と人、人と社会資源が分野を超えて緩やかにつながりながら、誰も取りこぼさない地域社会づくりに取り組んでいる市民グループと連携し、居場所づくりと当事者同士の繋がりづくりを進めてきました。

その活動の中で、様々な事情で働きづらさを感じている方への支援の一環として、市民活動団体と協働し、ぷらっと荘島を拠点にドリップコーヒーの梱包・販売を通じた多世代交流の場づくりを行いました。現在その居場所では元ひきこもりやシングルマザーなどといった多様な背景を持つ当事者が集い、活動に参加されています。

#### (5) 地域福祉を担う人材の育成

コロナ禍以降、初めて通常の体制で校区社協役員基礎セミナーを実施しました。

社会福祉大会は、災害対応により、実施時期を2月に延期するとともに、これまで別々に実施していたボランティアフェスティバルと同日開催として、『『災害』から私たちの地域福祉活動を考える』をテーマに記念講演、シンポジウムを行うなど、災害の時に求められる住民参加の地域福祉活動について議論を深めました。

ボランティアフェスティバルでは、ボランティア活動に興味のある人の参加と、ボランティア団体や関係者の交流といった本来の目的に加え、災害時のボランティア活動や防災の視点も取り入れ、社会福祉大会会場と隣接する野中生涯学習センターで実施しました。

また、福祉学習の取り組みとして、聴覚障害児と中高生の交流を通じたボランティア体験講座を実施しました。

さらに、企業や法人が行う福祉学習に職員の派遣や資機材の貸与を行うなどの協力をするとともに、企業、団体等に福祉学習等での市社協活用の呼びかけを行いました。

## 2 相談・支援

### (1) 組織内の情報を支援活動に活かす

生活困窮世帯への特例貸付（新型コロナ）の借受人に対し、相談員を増員し支援を行うとともに、こうした支援や貸付で把握した福祉課題を抱えた世帯には、課を超えて情報共有しその解決に向けた支援活動を行いました。

また、7月の豪雨災害では、災害ボランティアセンターの活動の一環として被災者の福祉課題の発見とその支援に努め、災害ボランティアセンター閉所後も引き続き寄り添った支援を行いました。

さらに、市から受託している「多機関協働事業」の一環として、市内の支援関係機関等による連携した支援活動に活かすため、制度の学習や意見交換を行うための場「重層的な支援体制の構築を考える会」を開催しました。

## (2) 継続的で柔軟な対応を行っていく

「複合・狭間」の課題解決に向け、関係機関、関係住民、当事者等が協議する場（重層的支援会議）を設け、ケースの情報共有や支援体制の構築に努めました。

また、生活困窮世帯や、ひきこもりの当事者や家族等で、自ら支援を求めることができない潜在的な相談者へのアウトリーチを行い、支援関係機関等へ繋げつつ、当事者団体と協働して生きづらさのある方の繋がる場づくりに努めました。

制度の狭間にある人へ、自立に向け寄り添った支援を行うライフレスキュー久留米連絡会実行部会と連携し困窮世帯の住宅環境整備を行いました。また、7月の豪雨災害では、同実行部会に災害ボランティアセンターの運営支援に継続して参画いただくなど、災害復旧支援でも連携した対応を行いました。

### 【実施状況】

実施項目	計画	実績
ライフレスキュー久留米 連絡会への参加法人	39 法人 (2 法人増)	登録 36 事業所 (30 法人)

※ライフレスキュー久留米連絡会については、令和2年度より登録制度を導入

## (3) 地域へのきめ細かな働きかけ

担当コーディネーターが、小学校区ごとに開催されている地域福祉の推進に関する住民同士の話し合いの場（支え合い推進会議や校区社会福祉協議会役員会、ふれあいの会班長会、地区民生委員児童委員協議会など）に参加し、住民間の情報共有、支え合う関係づくりの促進、課題解決に向けての支援を行いました。

自治会や校区社会福祉協議会、民生委員・児童委員等と協力して個別支援を行い、課題を抱えながらも、要支援者が地域で安心して暮らしていくことができるよう働きかけを行いました。

### 【実施状況】

実施項目	計画	実績
個別支援計画の作成	15 件程度 ※災害時マイプラン含む	15 件

#### (4) 要支援者の情報を速やかに把握する

通常の見守り訪問活動に加えて、ポストコロナにおいても、つながりを絶やさないよう、電話や手紙などを用いた安否確認の実施を働きかけました。

近隣世帯の小さな変化から課題や困りごとに気づくことができる住民を増やすため、地域住民を対象とした学習会、研修会等を校区社協等とともに実施しました。

年間を通じて、担当コーディネーターは、住民同士の話し合いの場に参加し、地域や個別の世帯等の困りごとや課題の把握に努めました。

##### 【実施状況】

実施項目	計画	実績
見守り訪問活動の普及 (ふれあいの会)	44 校区	45 校区
学習会の企画支援	各校区 2 回	36 校区 84 回 (再掲) (ボランティアスクールを含む)

#### (5) 被災者相談支援事業の受託

被災者支援活動の中で、被災された方が普段から生活課題、福祉課題を抱えていることが明らかになることがあったため、そうした課題を抱えた人を発見し、寄り添った支援を展開するために、新規の取り組みとして「被災者相談支援事業」を1月から受託しました。

受託に伴い相談員を増員し、地域福祉課の個別支援チームで対応を始めました。

#### (6) 人生あんしん事業（終活事業）の新規事業化に向けた準備

単身で親族の支援が得られない高齢者が、安心して最期を迎えたいという要望に応えるため、契約に基づいて普段の見守りや死後の手続き（葬儀、家財処分等）を行う終活事業について、事業化の検討を進めました。

事業化の準備として県社協の助成事業を活用し、事務局内プロジェクトによる検討、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会や関係機関、民間企業等との意見交換などを行い、新規事業「人生あんしん事業」として、令和6年度から事業を開始することとなりました。

### 3 権利擁護

#### (1) 法人後見事業

コロナ禍で面会や訪問が制限されている状況下において、本人に不利益が生じないよう関係機関と連携を図りながら臨機応変な対応を図りました。

また、成年被後見人等が経済的な理由で報酬が支払えない場合は、安定した事業運営のため、市の成年後見制度利用支援事業の補助金を利用し事業収入の確保に努めました。

**【実施状況】**

実施項目	計画	実績
受任件数	20 件	15 件（うち年度内終了 2 件）

※利用支援事業補助金（報酬補助）利用数 1 件

**（2）市民後見人の育成**

市が主催する市民後見人活動支援事業を受託し、市民後見人養成講座修了生に対して、必要な知識及び技術などの習得を目的にフォローアップ研修を実施しました。

また、市民後見人の単独受任を目指し、市とともに家庭裁判所と協議を行いました。

**（3）中核機関業務の受託**

成年後見センターの相談機能の充実と適正・効率的な運営に努めました。

また、市が成年後見制度の利用促進のために設置した中核機関の一部機能を引き続き受託し、成年後見人等の相談支援などに取り組みました。

さらに、法律的な知識が必要な相談に対応できるよう、試行的に司法書士相談会を実施し、令和 6 年度は相談会を定期的（月 1 回）に開催することとなりました。

**【実施状況】**

実施項目	実績
センター相談件数	781 件
センターによる申立手続の支援	65 件
受任調整会議への参加	11 回
関係者会議等への参加	14 回

**（4）日常生活自立支援事業**

利用契約者に対して、専門員 4 名にて適正かつ適切な事業運営に努めました。

また、コロナ禍で面会や訪問が制限されている状況下においても、適切な事業利用及び支援ができるよう関係機関との連携強化に努めました。

**【実施状況】**

実施項目	計画	実績
日常生活自立支援専門員	4 名	4 名

**4 在宅福祉サービス****（1）要介護認定調査業務の整理**

コロナ禍で、心身の状況に変化があった区分変更申請を中心に、介護認定調査業務を実施しました。

また、退職による職員減での今後の事業体制について、市と協議を行いました。

## (2) 介護保険事業等の廃止

事業経営の方向性について運営委員会を開催し、民間事業者の展開、利用者の減少、財務の状況及び事業の将来性を勘案し、令和5年度末をもって事業（居宅介護支援・訪問介護・通所介護・障害福祉サービス）を廃止することと機関決定しました。そのうえで、利用者の他事業所への移行調整等を行い、年度末に廃止しました。

## 5 災害への対応

### (1) 災害ボランティアセンター運営と本会の業務執行体制の確保

7月の豪雨災害では、市からの要請により久留米市災害ボランティアセンターを開設しました。運営にあたっては、市、県内及び九州・中国ブロックの社会福祉協議会や、災害NGO、NPO法人、企業、団体等の支援、参画のもと、被災者支援活動を行いました。

災害ボランティアセンター閉所後も、通常のボランティアセンターで支援ニーズに対応するとともに、運営上の課題整理、社会福祉大会での課題提起、体制の見直し等に取り組みました。

### (2) 非常時の支え合い

避難行動要支援者に対して、自治会役員など地域住民等を含む関係者とともに災害時マイプランの作成支援を行いました。また、障害者の当事者団体が開催した防災講座に参加し、避難行動要支援者のマイプラン作成を支援しました。

支援機関や地域住民と災害時マイプランを共有し、見守りや支え合いを促しました。

#### 【実施状況】

実施項目	計画	実績
避難行動要支援者 支援プランの作成 (災害時マイプラン)	15件程度（再掲） ※個別支援計画含む	15件

## 6 情報の発信・広報

### (1) 計画的、効果的な広報

本会の運営方針や事業内容、関連団体と連携した活動などへの理解を深めてもらうために、広報紙「くるめ福祉」（点訳版及び音声版を含む）を計画的に年4回発行しました。

市民向け情報やサービス等のお知らせについては、「くるめ福祉」や「ホームページ」、SNSの活用のほか、ドリームスエフエムのラジオ番組「みんな♥つながるラジオ」を通じて、多様な媒体での広報活動に努めました。

さらに、各校区の支え合い推進会議などで展開されている内容を、若年層を含めた幅広い世代に周知する「つながるスイッチ!!」に掲載し、WEBサイト「note」等で9回

情報発信しました。

また、ボランティアセンターの活動及びボランティア情報を発信するボランティア情報紙「まれっと」を隔月で発行しました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
フェイスブック、X(旧ツイッター)等への各課投稿	前年比 5%増	前年比 70%増
ホームページの閲覧者数 (月平均)	3,700 人	32,391 人

(2) 積極的な情報公開

現況報告書や事業計画書、事業報告書などの法人情報について、ホームページ等により積極的に情報を公開しました。

また、くるめ支え合うプラン（地域福祉活動計画）など、本会が策定した計画を始め、災害ボランティアセンター設置運営マニュアル等、本会作成の冊子等、様々な情報について、ホームページをはじめとするインターネット上での公開を進めています。



## II 事務局体制に関する取組

### 1 組織

#### (1) 企画・調整機能の強化

担当課の複合的な課題は、各課の業務を横断して調整する総務課職員の担当課制により、対応しています。

また、親族の支援が得られない高齢者の死後事務の課題解決を目指し、プロジェクトにて事業化を検討し、令和6年度から新規事業を開始することとなりました。

さらに、地域から信頼される組織づくりを目指し、課題ごとに3つの新規プロジェクトを立ち上げ、職員一人ひとりが課を超えて積極的な検討を行っています。

#### (2) 新たなニーズに対応した組織の見直し

7月の豪雨災害に伴い、市から被災者相談支援事業を受託し、被災された方が地域で安全・安心な生活を送れるよう、新たに嘱託職員2名を相談員として採用し、寄り添った支援を行う体制を整えました。

### 2 職員

#### (1) 人材の育成

職員の目指すべき目標を明確にし、日々の業務と中長期的視点での取り組みができるように「人材育成基本方針」の策定に向けた検討を行いました。

また、課を超えたプロジェクトチームにて課題解決に向けた事業立ち上げの検討を行い、職員一人ひとりの当事者意識・責任感を高め合いました。

### 3 事務事業

#### (1) 事務事業の見直し

クラウドを活用したファイル管理やオンライン会議の実施、職員間の情報共有のためのグループウェアの利用を進め、事務を効率化させました。

### Ⅲ 財源に関する取組

#### 1 財源の確保・活用

##### (1) 公募事業への参画

指定管理施設（総合福社会館、田主丸老人福祉センター、三瀨総合福祉センター）は、コロナ禍の影響を強く受けていましたが、少しずつ利用者が回復し、コロナ前の状況に戻りつつあります。しかしながら、最近の物価高や賃上げによる影響を受け、厳しい運営状況に直面しています。次期公募事業の参画に向けては、安定した運営を行えるよう、こうした課題の整理を行いました。

##### (2) 自主財源の確保

広報紙、ホームページ、また窓口来所者に対し、本会の活動に対する理解を賜りながら協賛金へのご協力・支援を呼びかけ、企業、経済団体を中心に、法人賛助会員への加入促進に努めました。

また、企業、経済団体及び地域活動団体の皆様より、車いすなど多くの物品寄贈も受けました。

【附属明細書】

1 法人の運営

(1) 理事会・評議員会等開催状況

区分	期日	内 容
理事会 (決議の省略による)	4月1日	提案事項1 理事候補者について 提案事項2 監事候補者について
評議員会 (決議の省略による)	4月1日	提案事項1 理事の選任について 提案事項2 監事の選任について
理事会 (決議の省略による)	4月1日	提案事項 常務理事の選定について
運営委員会	5月10日	久留米市社会福祉協議会田主丸介護保険事業等の方向性について
監 査	5月18日	令和4年度における理事の業務執行状況及び財産の状況について
理事会	6月2日	第1号議案 令和4年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事業報告及び決算について 第2号議案 社会福祉法人久留米市社会福祉協議会組織の変更及び社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事務局組織規則の一部改正について 第3号議案 社会福祉法人久留米市社会福祉協議会田主丸介護保険事業等の方向性について 第4号議案 令和5年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)(案)について 第5号議案 評議員選任候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について 第6号議案 任期満了に伴う次期役員候補者について 第7号議案 評議員会の招集について
評議員選任・解任委員会	6月9日	第1号議案 評議員の選任について
評議員会	6月26日	第1号議案 令和4年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事業報告及び決算について 第2号議案 令和5年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について 第3号議案 次期理事の選任について 第4号議案 次期監事の選任について

区分	期日	内 容
理事会	6月26日	第8号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について
理事会	10月12日	第9-①号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について
理事会 (決議の省略による)	1月12日	提案事項1 第51回久留米市社会福祉大会について 提案事項2 第51回久留米市社会福祉大会顕彰候補者について
運営委員会	2月21日	委員長及び副委員長の選任について  令和5年度補正予算(第2号)(案)について  令和6年度事業計画(案)・予算(案)について
理事会	3月21日	第9-②号議案 社会福祉法人久留米市社会福祉協議会定款の一部改正について 第10号議案 社会福祉法人久留米市社会福祉協議会定款細則の一部改正について 第11号議案 社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事務局組織規則の一部改正について 第12号議案 社会福祉法人久留米市社会福祉協議会経理規定の一部改正について 第13号議案 社会福祉法人久留米市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について 第14号議案 令和5年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)(案)について 第15号議案 令和6年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事業計画(案)及び資金収支予算(案)について 第16号議案 令和6年度役員等賠償責任保険契約について 第17号議案 理事候補者について 第18号議案 評議員会の招集について
評議員会	3月28日	第5号議案 社会福祉法人久留米市社会福祉協議会定款の一部改正について 第6号議案 令和5年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)について 第7号議案 令和6年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算について 第8号議案 理事の選任について

## (2) 社会福祉事業に関する寄付金状況 (物品寄贈含む)

(単位：件、円)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
5万円未満	件 数	20	15	19	23
	寄付金計	368,960	272,668	366,830	390,552
5万円以上10万円未満	件 数	5	7	2	13
	寄付金計	284,898	364,020	125,900	700,000
10万円以上20万円未満	件 数	8	5	8	10
	寄付金計	946,184	500,000	800,000	1,100,000
20万円以上30万円未満	件 数	0	0	1	2
	寄付金計	0	0	200,000	500,000
30万円以上40万円未満	件 数	2	2	0	0
	寄付金計	722,241	610,000	0	0
40万円以上50万円未満	件 数	1	0	0	0
	寄付金計	450,000	0	0	0
50万円以上100万円未満	件 数	1	1	2	0
	寄付金計	500,000	500,000	1,618,550	0
100万円以上	件 数	2	2	1	0
	寄付金計	72,232,992	3,300,000	1,729,495	0
合 計	件 数	39	32	33	48
	寄付金計	75,505,275	5,546,688	4,840,775	2,690,552

## (3) 社協会員制度状況

(単位：件、口、円)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
正会員	年額 3,000円	加入数	48	48	51	50
		加入口数	48	48	51	50
		金額(小計)	144,000	144,000	153,000	150,000
賛助会員	個人会員 1口1,000円	加入数	136	127	95	88
		加入口数	197.0	203	149	129
		金額	197,000	203,000	149,000	129,000
	法人会員 1口5,000円	加入数	4	2	21	8
		加入口数	4	2	131	37
		金額	20,000	10,000	655,000	185,000
金額(小計)		217,000	213,000	804,000	314,000	
金 額 (合計)		361,000	357,000	957,000	464,000	

## 2 久留米市地域福祉活動計画の推進

### (1) くるめ支え合うプラン推進協議会

開催日時	内 容	備考
12月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くるめ支え合うプランについて</li> <li>・災害から見えた地域福祉の課題と今後必要な取組みについて</li> </ul>	

### (2) くるめ支え合うプランの周知

内容	周知方法
ホームページでの公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会や市の公式ホームページで常時公開</li> </ul>
冊子及び概要版の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様々な会議等での説明(説明会)</li> <li>・校区福祉活動計画の策定支援を行う中での説明</li> </ul>

### (3) 校区福祉活動計画策定支援

支援内容	策定済	
	令和4年度迄	令和5年度迄
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様々な会議等での説明(説明会の実施)</li> <li>・校区福祉活動計画策定時におけるオブザーバー参加</li> </ul>	19校区	23校区

### 3 地域福祉活動推進事業

#### (1) 久留米市社会福祉大会

	内 容
日 時	2月4日(日) 12時～16時
会 場	文化センター 共同ホール
参加者	約450人
内 容	<p>記念講演 「なぜ、社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを運営するのか」 講師：特定非営利法人 にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 氏</p> <p>シンポジウム 「災害」から私たちの地域福祉活動を考える</p> <p>式典  <ul style="list-style-type: none"> <li>・久留米市社会福祉協議会顕彰 久留米市長顕彰 久留米市社会福祉協議会会長顕彰</li> <li>・福岡県共同募金会久留米市支会顕彰 久留米市長顕彰 久留米市支会会長顕彰</li> <li>・大会宣言、実践申し合わせ事項 他</li> </ul> </p>

#### (2) 校区社会福祉協議会連合会等支援

	内 容
会長会	1回(6月)
幹事会	5回(5月、8月、11月、1月、3月)
ブロック会議	3回(4月、9月(10月)、12月)
視察研修会	1回(2月) 実施方法：宿泊 【参加者：幹事7名、対象校区9名】
交流学习会	1回(12月) 実施方法：会場(マリターレ創世) 【参加者：42校区/89名】
歳末たすけあい 街頭募金	12月2日(西鉄久留米バスセンター、イベントスペースにて実施)
補助金説明会	2回(4月25日、4月28日の2日に分散して開催) 【参加者：37校区/60名】 実施方法：会場(総合福祉センター)
役員基礎 セミナー	7月7日(金) 13:30～15:45 【参加者：22校区/35名】 実施方法：会場(総合福祉センター)

(3) 久留米市校区社会福祉協議会連合会活動状況

会議・事業	期 日	内 容
会計監査	4月11日	・令和4年度会計監査
ブロック会議	4月	・令和5年3月幹事会について ・ブロック代表2名（代表者・副代表者）の選出について ・令和5年度事業計画（素案）・予算（素案）について
幹事会	5月23日	・各ブロック会議の報告 ・カレンダー事業集計報告 ・校区社会福祉協議会連合会会長及び副会長の互選 ・校区社会福祉協議会連合会監事の推薦 ・各種委員の選出について ・令和4年度校区社会福祉協議会連合会事業報告・決算報告 ・令和5年度校区社会福祉協議会連合会事業計画（案）・予算（案）
会長会 （総会）	6月14日	・校区社会福祉協議会会長の交代について ・校区社会福祉協議会連合会役員について ・各種団体の委員等の選出について ・カレンダー事業集計報告 ・令和4年度校区社会福祉協議会連合会事業報告・決算報告 ・令和5年度校区社会福祉協議会連合会事業計画（案）・予算（案） ・校区社会福祉協議会連合会監事の承認について
幹事会	8月22日	・2024年カレンダー事業状況報告 ・久留米市社会福祉大会について ①共催について ②顕彰候補者の推薦基準について ・令和5年度校区社協連合会事業について
ブロック会議	9月（10月）	・幹事会の報告 ①カレンダー事業の状況報告 ②久留米市社会福祉大会について ③令和5年度校区社協連合会事業について ・久留米市災害ボランティアセンターの活動状況について ・視察研修会について



会議・事業	期 日	内 容
幹事会	11月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ブロック会議の報告</li> <li>・久留米市社会福祉大会顕彰候補者の推薦について</li> <li>・久留米市社会福祉大会顕彰候補者の推薦基準について</li> <li>・令和5年度校区社協連合会事業について <ul style="list-style-type: none"> <li>①会長学習会</li> <li>②視察研修会</li> </ul> </li> <li>・久留米市セーフコミュニティ推進協議会委員の推薦について</li> </ul>
ブロック会議	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年11月幹事会について</li> <li>・令和6年度校区社協連合会事業について</li> </ul>
交流学習会	12月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども子育てサポートセンターの取組みについて</li> <li>・主任児童委員の活動及び事例紹介</li> </ul>
幹事会	1月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ブロック会議の報告</li> <li>・交流学習会について</li> <li>・第51回久留米市社会福祉大会における共催について</li> <li>・第45回久留米市ボランティアフェスティバルにおける後援について</li> <li>・令和6年度校区社協連合会事業について</li> <li>・ブロック制の運営方法の検討について</li> </ul>
視察研修会	2月26日 ～27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県八代市・宇城市視察 「災害に備えた地域づくり」</li> </ul>
幹事会	3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察研修会について</li> <li>・久留米市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員の推薦について</li> <li>・令和5年度事業報告（案）・決算見込について</li> <li>・令和6年度事業計画（素案）・予算（素案）について</li> </ul>

#### 4 ふれあいのまちづくり事業

(1) 地域活動コーディネーター及び生活支援コーディネーターによる地域への支援

活 動 項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
コーディネーター数	11人	11人	11人
社協及びふれあいの会等	38校区 164回	34校区 239回	34校区 215回
サロン・食事会等の交流会出席	10校区 20回	20校区 45回	26校区 45回
ボランティアスクール・学習会等支援	26校区 53回	36校区 84回	21校区 30回
民生委員協議会・各種会議等	36地区 183回	41地区 308回	39地区 250回
地域包括支援センターとの会議 関係機関との連携会議	172回	172回	249回

(2) 地域における小地域ネットワーク活動状況

項 目	内 容
サロンサポーターの活動実績	1班：西部地区「久レヨン」 121人 実践活動 8回 2班：中央地区「はっぴい〜会」 489人 実践活動 21回 3班：東部地区「こすもす隊」 401人 実践活動 30回 延59回
ふれあい・いきいきサロン 設置支援	サロン新規立ち上げ（4校区 4か所） 80,000円
子どもの遊び場遊具整備事業	11校区 12か所 25件 2,336,886円 賠償責任保険料 150,640円

#### 5 重層的支援体制整備事業

(1) 生活支援体制整備事業（「支え合い推進会議」の啓発・取組状況）

活 動 項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
取組みのための啓発説明会	10校区 11回	10校区 19回	16校区 20回
支え合い推進会議設置校区	45/46校区	46/46校区	46/46校区
支え合い推進会議への参加 (事前打ち合わせを含む)	43校区 265回	41校区 315回	40校区 249回

(2) 多機関協働事業取組

活 動 項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支援プランの作成	3件	18件	9件
重層的支援会議の開催	11回	7回	11回
支援会議（縮小版支援会議）の開催	11回	15回	14回

(3) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

活 動 項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支援プランの作成	8件	23件	15件
支援会議（縮小版支援会議）への持込	16件	23件	15件

(4) 視察等の受入れ

団 体 名	受入期日	受入社協等	
福津市社会福祉協議会	10月11日	高良内校区	
生駒市役所	11月13日	市社協	
宜野湾市社会福祉協議会	1月30日	山本校区	
宗像市社会福祉協議会	2月1日	市社協	

## 6 福祉教育の推進

### (1) 福祉教育教材の配布

福祉教育教材の配布	市内小学4年生を対象に福祉教育教材「ともに生きる」を市内小学校48校（特別支援学校含む）に3,037冊配布
-----------	---

### (2) 福祉学習等支援状況

小学校や中学校へのゲストティーチャー調整 28校56件

学習テーマ	学校名	日程
車いす利用者をゲストティーチャーとして調整	高牟礼中学校	6月29日(木)
	金島小学校	7月10日(月)
	西国分小学校	9月5日(火)
	津福小学校	9月8日(金)
	篠山小学校	9月15日(金)
	城島小学校	9月22日(金)
	荘島小学校	9月25日(月)
	青木小学校	9月27日(水)
	柴刈小学校	10月13日(金)
	安武小学校	10月25日(水)
	上津小学校	11月8日(水)
	小森野小学校	11月13日(月)
	長門石小学校	11月20日(月)
	大善寺小学校	12月6日(水)
南薫小学校	1月29日(月)	
視覚障害者をゲストティーチャーとして調整	弓削小学校	6月2日(金)
	北野小学校	6月7日(水)
	弓削中学校	6月27日(火)
	高牟礼中学校	6月29日(木)
	金島小学校	7月18日(火)
	西国分小学校	9月6日(水)
	津福小学校	9月11日(月)
	津福小学校	9月13日(水)
	荘島小学校	9月19日(火)
	東国分小学校	9月20日(水)
	篠山小学校	9月20日(水)
	城島小学校	9月25日(月)
	合川小学校	9月28日(木)
	青木小学校	10月3日(火)
山川小学校	10月5日(木)	

	鳥飼小学校 安武小学校 大城小学校 南小学校 田主丸小学校 柴刈小学校 安武小学校 長門石小学校 大善寺小学校 金丸小学校 御井小学校	10月5日(木) 10月12日(木) 10月13日(金) 10月18日(水) 10月19日(水) 10月26日(木) 11月1日(水) 11月15日(水) 11月28日(火) 12月15日(金) 2月27日(火)
聴覚障害者及び手話通訳者をゲストティーチャーとして調整	西国分小学校 津福小学校 城島小学校 青木小学校 荘島小学校 山川小学校 鳥飼小学校 合川小学校 大城小学校 篠山小学校 安武小学校 田主丸小学校 長門石小学校 大善寺小学校	9月7日(木) 9月12日(火) 9月20日(水) 9月26日(火) 9月28日(木) 10月2日(月) 10月3日(火) 10月4日(水) 10月4日(水) 10月5日(木) 10月19日(木) 10月24日(火) 11月8日(水) 11月30日(木)
高齢者をゲストティーチャーとして調整	西国分小学校	9月15日(金)

(3) 他団体主催事業への協力(講師派遣)

学校や企業等への職員派遣による福祉教育の実施 12件

学習テーマ	主催(内容)	実施日
ボランティア入門	医療法人コミュニテ風と虹 (障害者ボランティア養成講座)	3月23日(土)
災害とボランティア	久留米大学 (学生 災害福祉論)	9月29日(金)
	久留米市 (防災リーダー研修)	11月25日(土) 12月5日(火)
障害者、高齢者の疑似体験と支援の心構え	西日本鉄道株式会社 (鉄道乗務新規採用職員)	5月19日(金)

	西日本鉄道株式会社 (鉄道乗務中途採用職員)	11月14日(火) 12月4日(火)
	西日本鉄道株式会社 (現車掌職員)	12月5日(火) 12月6日(水)
	山本小学校	11月8日(火) 1月24日(水)
地域共生社会における ボランティアの役割	三瀨総合ボランティアセンター (総会研修)	5月28日(日)

## 7 ボランティアセンター運営事業

(1) ボランティア相談・ボランティア活動保険等 (単位：件、人)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	73	78	144
ボランティア相談会(ブース出展含む)	1	1	1
マッチング件数	58	62	86
ボランティア活動保険加入人数	3,725	3,870	5,375
ボランティア保険事故件数	5	13	21

(2) ボランティアセンター情報紙「まれっと」の発行

発行回数	内 容
年5回	5月、8月、10月、1月、3月発行(各500部) 内容：ボランティア講座や募集等の情報発信、助成事業の紹介のほか、ボランティア活動に関する記事の掲載 送付：公共施設、ボランティア団体、ボランティア活動相談者、希望する個人等へ送付

(3) ボランティア育成・養成講座・体験

名称	内 容
サロン レクリエーション サポーター 入門講座	開催日：2月13日(火) 20日(火) 対象者：サロンサポーターに興味のある市内在住の人 受講後活動が可能な人 内 容：グループレクリエーション研修 講 師：福岡県レクリエーション協会 専務理事 緒方 初美 氏 場 所：久留米市総合福祉センター 参加数：17人
サロン レクリエーション サポーター フォローアップ研修	開催日：3月22日(金) 対象者：現在サロンサポーターとして活動している人 入門講座を受講した人 内 容：グループレクリエーション研修 講 師：福岡県レクリエーション協会 専務理事 緒方 初美 氏 場 所：久留米市総合福祉センター 参加数：8人

名称	内 容
要約筆記者養成講座	開催日：4月1日（土）～3月31日（土）全21回 対象者：前期講座受講者（終了後、活動に参加できる人） 内 容：パソコンを使った要約筆記 講 師：PCくるめ 他 場 所：久留米市総合福祉センター 受講者：7人
農業ボランティア養成講座	開催日：5月18日（木）・20日（土） 対象者：農業ボランティアに興味がある市民 内 容：フードバンク・フードドライブ活動について 講 師：社協職員、 フードバンク・フードバンクふくおか 場 所：久留米市総合福祉センター・フードバンク 修了者：17名
ボランティア活動体験（ちょいボラ）	開催日：4月24日（月）～3月25日（月）計9回 内 容：ボランティア活動参加のきっかけづくりとして 気軽に参加できる活動体験 ①ペットボトルキャップの仕分け作業 ②使用済み切手の仕分け作業 参加数：延55人
海外ボランティアセンター研修受入れ	開催日：5月29日（月） 対象者：大韓民国 忠北ボランティアセンター管理者 内 容：市社協ボランティアセンター概要説明 抹茶ボランティア提供、館内見学 場 所：久留米市総合福祉センター 参加数：28人

#### （4）ボランティアフェスティバル支援

名称	内 容
第45回久留米市ボランティアフェスティバル （主催：ボランティアフェスティバル実行委員会）	開催日：2月4日（日） 第51回久留米市社会福祉大会と合同開催 場 所：共同ホール 野中生涯学習センター 参加者：約300人 P R：障害者支援団体、ボランティアによる物販 救急法実演（筑後地区日赤安全普及会） 体験等：地震体験車 床下模型を使った水害対応学習 福祉車両の展示 その他：キッチンカーによる食事提供



(5) 生活困窮者への食料支援体制の構築

ア 生活困窮者世帯への個別食料支援

フードバンクくるめより提供を受けた食料支援セット（米、缶詰、レトルト食品など）を特例貸付や生活困窮に関する相談に来た人（世帯）に提供しました。

提供件数	20 件
------	------

※内訳

品目	数量
白米	20 個 (52 kg)
アルファ化米	31 個
缶詰	45 缶
レトルト食品	118 袋

品目	数量
麺類	86 個
副食	103 個
嗜好品	48 個

イ 生活困窮者支援団体への食料提供連絡調整等

規格外野菜や直売所の野菜の受入から生活困窮世帯支援団体等への提供調整

内容	回数	備考
食品等の受入調整		
市内の農家・JA 等からの受入	53 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫時の規格外野菜</li> <li>・直売所からの提供</li> </ul>
畑での規格外野菜の直接収穫	17 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業ボランティアによる収穫作業</li> <li>・地域活動支援センターⅢ型利用者の体験活動に活用</li> <li>・引きこもり等の当事者の外出の機会として活用</li> </ul>
その他市内企業・個人・事業所からの受入	74 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賞味期限が近い物</li> <li>・寺院からの提供</li> <li>・店舗閉店時の商品</li> <li>・非常食や備蓄品</li> </ul>
食品等の提供調整		
食事等を提供する活動団体への食材として提供	144 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の子ども食堂（19 団体）</li> <li>・食料支援団体（16 団体）</li> <li>・当会への相談者など</li> </ul>

## 8 災害ボランティア活動の推進

### (1) 災害ボランティア相談の窓口開設及び災害ボランティアセンターの開設・対応

	内 容
活動実施期間	相談窓口開設 7月5日(水)～7月10日(月) センター開設 7月11日(火)～10月31日(火) 119日間
活動対象と支援内容	浸水被害の方を対象に、生活環境の回復に必要な支援
活動場所(校区)	鳥飼、上津、高良内、山本、草野、善導寺、大橋、水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸、北野、大城、犬塚 (16校区)
主なニーズと作業内容	災害ゴミの搬出、流入土砂のかき出し、廃棄など
活動件数	780件(相談窓口開設期間含む)
ボランティア数	延べ 7,977人

### (2) 災害ボランティアセンターの閉所に伴う被災世帯(センター対応世帯)への訪問調査

日 時	内 容
11月1日(水)～ 11月5日(日)	内 容：被災した世帯の現在の状況、自立生活の再建に関する現状を把握し必要な支援に繋げることを目的として実施 件 数：258件 校 区：鳥飼、上津、高良内、山本、草野、善導寺、大橋、水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸、北野、大城、犬塚

### (3) 災害ボランティアセンターに関する活動報告及び視察受け入れ等

日 時	内 容
9月16日(土)	福岡救急医学会(福岡市)(活動報告)
10月22日(日)	日本赤十字社防災ボランティア研修会(講師)
11月21日(火)	湧水町社協視察受け入れ
2月8日(木)	宮崎県庁視察受け入れ
2月20日(火)	朝倉市社協視察受け入れ
2月28日(水)、29日(木)	延岡市社協視察受け入れ
3月9日(土)	九州広域危機対応・救護連携研究会研修(活動報告)
3月13日(水)	福岡市社協災害ボランティア研修会(活動報告)

## 9 福祉総合相談事業

### (1) 相談区分別、月別ふれあい福祉相談カード提出実績

NO	相談区分 (月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	在宅福祉・介護	17	7	5	2	10	5	6	7	2	9	8	0	78
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	介護保険	9	4	4	9	4	4	9	2	4	6	4	2	61
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	健康・保健医療	8	7	4	7	3	2	10	11	7	7	4	1	71
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	子育て・母子保健	2	3	12	0	1	1	2	2	2	2	3	0	30
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	子どもの地域生活	34	34	25	0	8	31	1	33	29	28	33	0	256
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	子どもの教育・学校生活	3	1	1	0	0	2	1	1	5	5	7	1	27
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	生活費	0	3	1	1	0	2	5	2	2	1	1	0	18
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	年金・保険	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	仕事・就職	1	0	2	1	0	1	1	0	0	1	0	0	7
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	家族関係	2	4	3	2	0	4	0	2	1	10	1	4	33
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	住居	4	3	1	9	0	2	2	2	1	4	2	0	30
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	生活環境	10	11	2	3	4	6	6	5	5	9	9	0	70
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	日常的な支援	37	40	32	33	35	34	35	36	44	49	67	2	444
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	その他	19	12	14	18	19	13	19	9	30	14	30	3	200
		6	2	3	2	1	3	0	0	0	0	0	0	17
	合計	146	129	106	85	84	107	97	112	132	145	169	13	1,325
		6	2	3	2	1	3	0	0	0	0	0	0	17

※ 上段:全体取扱数 下段:ふれあい福祉相談室(総合福祉センター内)取扱数

(2) ふれあい福祉相談員研修会開催実績

期 日	内 容
令和5年度 随時	<p>希望する地区に対し、説明会を実施。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>○説明実施地区…1地区</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ふれあい福祉相談事業について</li><li>・社協が行う、その他の相談支援事業について</li></ul>

## 10 日常生活自立支援事業

### (1) 利用者数 (単位：人)

区分	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	合 計	生活保護 受給者 (再掲)	通帳等の預かり	
						貸金庫	社協
人数	64	23	69	156	116	31	156

### (2) 年度別利用者数 (年度末利用者数) (単位：人)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人数	156	151	153	156

### (3) 相談援助件数 (問い合わせ・相談援助件数) (単位：件)

内 容 事 項	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	対象者 認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明・ その他		
問合せ件数 (制度・事業について)	18	17	44	0	0	79
初回相談件数 (初回相談受付)	45	22	24	0		91
相談援助件数 (上記以外)	1,551	1,348	4,236	0		7,135
合 計	1,614	1,387	4,304	0	0	7,305

### (4) 契約締結者数 (単位：人)

事 項	対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合 計	生活保護 受給者 (再掲)
契 約 者 数		11	7	14	0	32	20
契約時概要 (内訳)	在 宅	4	2	9	0	15	8
	施 設	5	1	2	0	8	7
	病 院	0	0	0	0	0	0
	グループホーム	2	4	3	0	9	5

### (5) 解約者数 (単位：人)

事 項	対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合 計
解 約 者 数		14	2	13	0	29

## 1.1 生活福祉資金貸付事業

### (1) 申請額及び決定額

(単位：件、円)

区 分		申 請 額		決 定 額	
		件数	金 額	件数	金 額
総合支援資金	生活支援費	0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	34	11,845,000	31	10,800,000
	緊急小口資金	19	1,860,000	17	1,660,000
教育支援資金	教育支援費	46	17,179,000	44	16,795,000
	就学支度費	43	14,920,000	41	14,567,000
不動産担保型生活資金		1	150,000	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0
合 計		143	45,954,000	133	43,822,000

### (2) 年度別貸付決定件数

(単位：件)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総合支援資金	生活支援費	0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	15	33	20	31
	緊急小口資金	24	9	11	17
教育支援資金	教育支援費	28	36	37	44
	就学支度費	28	38	37	41
不動産担保型生活資金		1	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0
緊急小口資金特例【R2.7月豪雨災害】		1	-	-	-
緊急小口資金特例【新型コロナ】		2,791	1,506	499	-
総合支援資金特例【新型コロナ】		3,666	2,752	440	-
合 計		6,554	4,374	1,044	133

### (3) 特例貸付年度別相談件数

(単位：件)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特例貸付【新型コロナ】	-	-	-	392

## 12 福祉人材バンク事業

### (1) 求職状況年度推移

(単位：人)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規求職者数	59	77	87	84
有効求職者数	14	23	30	24

### (2) 求人状況年度推移

(単位：人、件)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規求人件数		686	689	646	559
新規求人数		1,527	1,524	1,468	1,251
新規求人施設数		250	231	217	207
有効求人件数(※1)		1,889	1,912	1,805	113
有効求人数(※1)		4,171	4,188	4,070	262
有効求人施設数(※1)		595	579	519	41
応募・紹介者数		2	1	3	28
採用人数		6	10	8	8
就職前辞退人数(※2)		-	-	-	1
就職後6ヶ月以内(※3)	解雇	-	-	-	1
	離職	-	-	-	1

※1 労働局に提出する3月末時点の有効求人数

※2 採用決定後就職前に辞退した人数

※3 対象は前年度採用者

### (3) 相談状況年度推移

(単位：人)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
求 人		895	744	771	802
求 職		125	187	198	236
計		1,020	931	969	1,038

### (4) 65歳以上の年度別状況

(単位：人)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	男	4	0	1	4
	女	0	2	0	5
	計	4	2	1	9
求 職	男	2	0	2	4
	女	0	1	0	2
	計	2	1	2	6
求 人	求人件数	0	0	0	0
	求人数	0	0	0	0
紹介数	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	0
	計	0	0	0	0
就職数	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	0
	計	0	0	0	0

(5) 啓発・広報事業実績

(福祉入門講座)

目的：社会福祉に関する理解と関心を高めると共に新たな福祉人材の育成を図る。

実施主体：筑後地区福祉人材バンク（県社協からの受託事業）と域内市町村の該当する社会福祉協議会との共催とする。

実施内容：就職希望者・高校・大学生を対象とした「福祉関連事業所への就職につながる演題」及び一般の方を対象とした「身近な福祉」「わかりやすい福祉」「福祉の基礎知識の習得」等とする。

事業経費：1講座 34,000円、11講座（374,000円）を目安とする。

事業決算：11講座 255,910円

回数	開催社協／開催日／参加者	テーマ / 参加人数
11	久留米市社会福祉協議会	<p>高校生を対象に「福祉関連職場の魅力・やりがい」（福祉に夢が持てるように）の講話を行い、介護職員と施設利用者との間で信頼関係を構築した職場の現状等を紹介し、福祉への関心度を向上させる。</p> <p>また、開催される高校の要望も踏まえて、手話・障害者福祉・児童福祉など様々なテーマを織り込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話の魅力について</li> <li>・認知症の方への介護について</li> <li>・福祉用具を使った疑似体験 など</li> </ul> <p>参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 県立大川樟風高校 (計 33人)</li> <li>② 県立ありあけ新世高校【第1回】 (計 7人)</li> <li>③ 県立ありあけ新世高校【第2回】 (計 9人)</li> <li>④ 県立ありあけ新世高校【第3回】 (計 10人)</li> <li>⑤ 久留米学園高校(2年生) (計 24人)</li> <li>⑥ 久留米学園高校(3年生) (計 15人)</li> <li>⑦ 杉森高校(1～3年生) (計 44人)</li> <li>⑧ 大牟田高校 (計 22人)</li> <li>⑨ 柳川高校(1年生)【第1回】 (計 90人)</li> <li>⑩ 柳川高校(1年生)【第2回】 (計 68人)</li> <li>⑪ 柳川高校(1年生)【第3回】 (計 64人)</li> </ul> <hr/> <p>(合計 386人)</p>
	① 6月2日(金) 県立大川樟風高校	
	② 6月14日(水)【第1回】 県立ありあけ新世高校	
	③ 6月21日(水)【第2回】 県立ありあけ新世高校	
	④ 7月12日(水)【第3回】 県立ありあけ新世高校	
	⑤ 10月30日(月) 久留米学園高校(2年生)	
	⑥ 10月30日(月) 久留米学園高校(3年生)	
	⑦ 12月12日(火) 杉森高校(1～3年生)	
	⑧ 12月13日(水) 大牟田高校(2年生)	
	⑨ 3月11日(月)【第1回】 柳川高校(1年生)	
	⑩ 3月12日(火)【第2回】 柳川高校(1年生)	
⑪ 3月13日(水)【第3回】 柳川高校(1年生)		
	[決算額：255,910円]	



### 1 3 生計困難者に対する相談支援事業

#### (1) 「ふくおかライフレスキュー事業」取組状況

取組状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度
県事務局への 拠出金口数	30口 (300,000円)	30口 (300,000円)	30口 (300,000円)
支援対象件数	1件	3件	3件
支援金額合計	86,805円	181,708円	282,273円

#### (2) 「ライフレスキュー久留米連絡会」取組状況

##### ア ライフレスキュー久留米連絡会

項目	第1回	第2回	第3回
開催期日	6月22日(木)	10月2日(月)	1月26日(金)
開催場所	久留米市総合福祉センター	久留米市総合福祉会館	久留米市総合福祉センター
参加法人数	15法人(16名)	14法人(15名)	10法人(10名)
	その他関係機関1名	その他関係機関2名	その他関係機関2名
協議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフレスキュー久留米連絡会役員選出(案)について</li> <li>2. 令和4年度 ライフレスキュー久留米連絡会事業報告(案)について</li> <li>3. 令和5年度 ライフレスキュー久留米連絡会事業計画(案)について</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ふくおかレスキュー事業相談対応実績報告</li> <li>2. ライフレスキュー久留米連絡会活動実績報告</li> <li>3. ライフレスキュー久留米連絡会パンフレット</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ふくおかライフレスキュー事業相談対応実績報告</li> <li>2. ライフレスキュー久留米連絡会活動実績報告</li> <li>3. ライフレスキュー久留米連絡会実行部会 視察研修報告</li> <li>4. 令和5年度 ライフレスキュー久留米連絡会事業報告(案)</li> </ol>

##### イ ライフレスキュー久留米実行部会定例会

項目	第1回	第2回	第3回
開催期日	5月30日(火)	12月12日(火)	2月13日(火)
開催場所	久留米市総合福祉センター	福智町社会福祉協議会	久留米市総合福祉センター
参加法人数	5法人(5名)	6法人(8名)	4法人(5名)
協議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和4年度 ライフレスキュー久留米連絡会事業報告(案)について</li> <li>2. 令和5年度 ライフレスキュー久留米連絡会事業計画(案)について</li> <li>3. 今後の地域貢献活動について</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 視察研修(福智町社会福祉連携協議会)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和5年度事業計画の取組状況と課題について</li> <li>2. 令和6年度 ライフレスキュー久留米連絡会事業計画(案)について</li> <li>3. ライフレスキュー久留米連絡会パンフレット(案)について</li> </ol>

## (3) 福祉機器の貸出し状況

(単位：件)

福祉機器		令和3年度	令和4年度	令和5年度
車椅子	更新数	81	68	68
	新規貸出数	74	91	79
ベッド	更新数	61	66	34
	新規貸出数	10	5	7
その他	更新数	4	5	11
	新規貸出数	7	12	9
合計	更新数	147	139	113
	新規貸出数	91	108	95

## (4) 本所・支所の内訳

(単位：件)

	本所			田主丸支所			北野支所			城島支所			三潁支所		
	更新	返却	新規	更新	返却	新規	更新	返却	新規	更新	返却	新規	更新	返却	新規
車椅子	53	41	41	4	14	10	5	13	11	3	3	4	3	11	13
ベッド	31	12	7	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0
その他	8	3	3	3	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	92	56	51	7	19	16	6	13	11	5	3	4	3	11	13

## 14 成年後見センター運営事業

(1) 本人（相談対象者）の状況別相談件数 (単位:件)

区分	高齢者	知的障害者	精神障害者	不明その他	合計
件数	459	110	166	46	781

(2) 相談者の内訳 (単位:件)

区分	件数	区分	件数	区分	件数
本人	102	地域包括支援センター	39	障害者相談支援事業所	51
家族・親族	283	基幹相談支援センター	16	後見受任者	34
民生児童委員	0	司法関係	3	施設	23
行政関係	48	ケアマネジャー	51	他後見センター	1
知人・近隣者	12	医療関係	102	その他	16

(3) 相談内容の内訳（複数可） (単位:件)

区分	件数	区分	件数
成年後見制度に関すること	459	後見人活動に関すること	36
申立て手続きに関すること	557	権利侵害に関すること	3
申立人に関すること	0	研修等に関すること	7
後見人等に関すること	29	市長申立てに関すること	0
申立て・報酬費用に関すること	2	市民後見人に関すること	0
財産管理に関すること	19	その他	15
身上監護に関すること	11		

## 15 法人後見事業

(1) 受任状況（類型区分） (単位:人)

区分	令和2年度迄		令和3年度迄		令和4年度迄		令和5年度迄	
		内終了		内終了		内終了		内終了
成年後見	31	12	33	16	33	21	33	23
保佐	8	5	9	6	9	8	11	8
補助	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	40	18	43	23	43	30	45	32

(2) 受任件数（障害等区分） (単位:人)

区分	令和2年度迄		令和3年度迄		令和4年度迄		令和5年度迄	
		内終了		内終了		内終了		内終了
認知症	33	16	35	20	35	26	36	28
知的障害	4	1	5	1	5	2	5	2
精神障害	3	1	3	2	3	2	4	2
合計	40	18	43	23	43	30	45	32

## 16 情報の発信

### (1) 「くるめ福祉」の発行

- ア 発行 くるめ福祉（年4回）  
 イ 配布先 市内全世帯（約110,000部）  
 ウ 内容等

発行日	主な内容	各号共通内容
7/1 (187号)	令和4年度事業報告・決算報告 災害に備えてあなたにできることは？ 福祉情報のアレコレ、ラジオで発信中 中高生ボランティア体験講座参加者募集 声でくるめ福祉をお届けします	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄付者一覧、寄付等紹介</li> <li>・ 福祉漫画</li> <li>・ 献血ちゃんコラム</li> <li>・ 献血日程予定表</li> <li>・ アンケート募集</li> <li>・ 市社協ホームページへの 二次元コード掲載など</li> </ul>
10/1 (188号)	赤い羽根共同募金 7月豪雨災害情報／日本赤十字社の活動 要約筆記者養成講座受講者募集 福祉入門講座の紹介 社会福祉大会延期のお知らせ	
1/1 (189号)	新年のあいさつ 7月の水害から半年 地域の活動紹介（地域活動レポート） 日常生活自立支援事業の紹介 自主クラブ会員募集／福祉機器更新 福祉大会及びボランティアフェスティバル案内	
4/1 (190号)	令和6年度事業計画・資金収支予算 社会福祉大会顕彰者・団体紹介 各種周知記事（赤十字運動月間、介護保険事業等の廃止、ボランティア募集等） 赤い羽根共同募金特集	

## (2) ホームページ

### ア 閲覧状況

	月別閲覧ページ数 (延べ数)	月別訪問者数 (延べ数)
	令和5年度	令和5年度
4月	5,052	1,820
5月	7,497	2,808
6月	7,912	2,936
7月	160,165	62,584
8月	92,369	31,410
9月	30,340	13,317
10月	19,390	5,199
11月	15,552	4,346
12月	11,593	5,541
1月	19,991	4,222
2月	10,223	4,830
3月	8,607	3,544
総数	388,691	142,557
平均	32,391	11,880

※ページ数はサーバーログから、訪問者数はGoogleAnalyticsから

### イ 令和5年度の閲覧の多いページ

- ①久留米市災害ボランティアセンターの開設について
- ②久留米市災害ボランティアの登録受付について
- ③久留米市災害ボランティアセンターについて
- ④三潞総合福祉センター【ゆうゆう】
- ⑤総合福祉会館

## (3) フェイスブック

ア 投稿記事 266件

イ 延べ閲覧数 170,131回

### ウ 令和5年度の閲覧の多い記事

- ①災害ボランティアセンター「Amazonほしいものリスト」を活用 (R5.7.22) 4,443回
- ②災害ボランティア募集方法等の見直し (R5.7.21) 3,989回
- ③お盆期間中の災害ボランティア活動への協力をお願い (R5.8.10) 3,982回
- ④災害ボランティアセンター「ホワイトボードにエール」 (R5.8.11) 2,689回
- ⑤災害ボランティアの募集範囲の拡大 (R5.7.17) 2,641回

## (4) X (旧ツイッター)

ア 投稿記事数 70件

### イ 令和5年度の閲覧の多い記事

- ①災害ボランティア募集方法等の見直し (R5.7.21) 32,892回
- ②令和5年7月26日までの災害ボランティア登録受付開始 (R5.7.19) 16,576回
- ③今後の災害ボランティア募集について (R5.8.20) 15,022回

## 17 在宅福祉サービスの推進

### (1) 介護保険認定調査事業 (単位：件)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調査件数	2,471	2,640	2,675	2,400

### (2) 居宅介護支援事業(令和6年3月31日事業廃止) 居宅サービス計画(ケアプラン)の作成等 (単位：人)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数(月平均)	98	103	97	75

### (3) 介護予防支援事業(令和6年3月31日事業廃止) 介護予防サービス計画(ケアプラン)の作成 (単位：人)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数(月平均)	25	18	13	12

### (4) 訪問介護事業(ホームヘルパー派遣)(令和6年3月31日事業廃止)(単位：人、回)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数(月平均)	14	17	17	12
回 数	2,089	2,442	2,042	1,379

### (5) 総合事業(訪問介護)(ホームヘルパー派遣)(令和6年3月31日事業廃止)(単位：人、回)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数(月平均)	18	18	10	6
回 数	1,100	1,069	626	411

### (6) 通所介護事業(令和6年3月31日事業廃止)(単位：人、日)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数(月平均)	52	58	56	44
延人数	8,598	9,495	8,451	6,760
開所日数	307	308	302	310
平均人数(1日当り)	28	31	28	22

### (7) 総合事業(通所)(令和6年3月31日事業廃止)(単位：人、日)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数(月平均)	11	16	12	10
延人数	754	1,132	929	804
開所日数	307	308	302	310
平均人数(1日当り)	2	2	3	3

### (8) 障害福祉サービス事業(ホームヘルパー派遣)(令和6年3月31日事業廃止)(単位：人、回)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数(月平均)	11	13	13	13
回 数	986	1,636	1,774	1,774

## 18 指定管理施設等の管理・運営

### (1) 福祉バス利用状況

(単位：人)

バス種別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
本所福祉バス (団体利用型)	157	219	1,799	3,069
田主丸福祉バス (巡回型)	9,103	2,733	3,313	3,807
合 計	9,260	2,952	5,112	6,876

### (2) 施設利用状況

(単位：人)

施設名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総合福祉センター	4,879	4,976	6,508	6,340
総合福祉会館	30,296	26,701	40,485	44,000
田主丸老人福祉 センター	19,764	16,380	19,942	18,529
三瀨総合福祉センター	19,222	18,356	26,928	29,292
合 計	141,219	74,161	93,863	98,161

※新型コロナウイルス感染症の影響により一部臨時休館

(令和2年3月7日～令和2年5月25日)

(令和3年5月12日～令和3年6月20日)

(令和3年8月10日～令和3年9月30日)

### (3) 総合福祉会館事業実施状況

(単位：人)

事業名		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
訓練事業 機能回復	機能回復訓練	190	1,797	174	1,571	240	2,056	241	2,433
事業 相談	機能回復訓練 相談	相談数 43 件		相談数 34 件		相談数 54件		相談数 67件	
事業 主催	料理教室等	38	578	45	601	58	760	134	1,220

## (4) 田主丸老人福祉センター事業実施状況

(単位：回、人)

事業名	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	
主催事業	薬草教室	10	170	6	129	10	182	3	66
	盆栽教室	16	137	8	52	16	67	13	63
	ボランティアクラブ	7	68	5	68	8	120	8	141
	絵画教室	17	178	11	142	16	199	15	203
	押花教室	17	162	11	81	15	126	19	130
	竹工芸教室	14	176	11	166	16	151	14	128
	太極拳教室	16	167	10	121	16	253	13	136
	絵手紙教室	18	327	11	182	16	272	13	222
	詩吟教室	16	173	11	146	16	239	15	207
	健康音楽教室	20	428	15	271	20	360	18	288
	もの作り教室			10	85	8	125	7	137
	ますます健康大学			7	140	10	209	9	207
	筆ペン教室			16	226	16	200	34	312
	リラックスヨガ教室			16	199	15	151	16	203
	フクロウ会(折り紙)	9	158	8	122	12	163	10	107
	お話し会			6	70	12	95	10	85
	楽し <sup>まる</sup> カフェ								
	オセロ愛好会							83	411
共催事業	ダーツ定例会			8	136	12	223	11	200
	シルバーいきいき学級	8	146	主催事業開始に伴い廃止					
事相談	老人健康相談	10	114	6	51	4	39	6	43
事送業迎	利用者送迎	113便	421	96便	391	122便	473	103便	375



## (5) 三潞総合福祉センター事業実施状況

(単位：回、人)

事業名		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
子育て支援事業	ベビーマッサージ	10	209	8	92	12	133	12	232
	子育てサロン	8	79	8	51	11	111	10	137
	育児相談	相談数 3件		相談数 3件		相談数 5件		相談数 3件	
	料理教室	0	0	0	0	0	0	0	0
	リトミック教室	0	0	0	0	23	236	23	335
	ゆうゆう勉強部屋	0	0	0	0	41	122	44	167
生きがい事業	手芸教室	20	165	17	152	24	253	20	162
	折り紙教室	10	145	9	121	12	149	12	159
	塗り絵教室	20	187	17	136	24	256	24	261
	筆ペン教室	19	489	17	410	24	640	23	543
健康づくり事業	健康体操	3	58	0	0	24	396	24	474
	日曜健康体操	1	13	0	0	12	196	23	392
	フラダンス教室	16	264	18	255	19	241	20	204
	健康づくり教室	3	53	2	42	2	34	3	38
	太極拳	18	128	18	144	23	179	23	305
	食と体の健康事業	0	0	0	0	1	14	10	134
	健美操体操	0	0	0	0	24	427	24	532
予防事業 認知症	イキイキ脳トレ 貯筋運動	19	270	16	231	23	350	20	339
	脳と身体の体操	4	34	5	54	9	99	12	84
	コグニサイズ教室	0	0	0	0	24	74	0	0
広報事業 (ゆうゆうだより)		4	6,000 部/回	4	6,000 部/回	4	6,000 部/回	2 2	6,000部/回 19,000部/回
利用者送迎事業		15		0		0		0	

## 19 共同募金配分金事業

### (1) 一般共同募金配分金事業

事業	内容	金額 (円)
校区社協活動支援	校区社会福祉協議会活動費 (前年度校区実績額の50%相当額+40,000円)	30,026,000
	訪問活動支援事業	5,011,300
	サロン運営事業補助	4,095,615
ボランティア及び 福祉団体等補助	社協構成7団体補助 (7団体)	1,887,000
	一般補助 (27団体)	1,250,000
	設立補助対象新規団体 (1団体)	100,000
	ボランティア連絡協議会 (1団体)	300,000
社協広報事業 (共同募金充当額)	広報紙「くるめ福祉」年4回発行 ホームページ改定・保守点検	3,101,852
合 計		45,771,767

### (2) 歳末たすけあい募金配分金事業

事業	内容	金額 (円)
食事サービス事業 いきいきサロン事業	食事サービス事業補助	6,567,000
	サロン運営事業補助	973,385
校区社協歳末事業	46校区社協歳末事業補助	7,553,986
いのちのバトン	いのちのバトン関連印刷費	118,800
終活事業 (人生あんしん事業)	広報印刷費	36,214
生活困窮者支援事業	NPOホームレス支援久留米越冬活動の会 及び、NPOくるめフードバンク補助	300,000
合 計		15,549,385

## 20 共同募金・日本赤十字事業への協力

### (1) 共同募金会久留米市支会年度別実績額

(単位：円)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		一般募金運動期間 (10/1～12/31)	一般募金運動期間 (10/1～12/31)	一般募金運動期間 (10/1～12/31)	一般募金運動期間 (10/1～12/31)
赤い羽根一般募金		56,901,810	57,264,911	57,156,742	57,216,097
内訳	戸別募金	40,662,877	41,432,863	41,012,281	41,296,689
	法人募金	7,615,040	7,771,603	7,867,645	7,671,844
	個人募金	4,148,938	3,722,441	3,758,621	3,840,174
	その他の募金	4,474,955	4,338,004	4,518,195	44,073,390
歳末たすけあい募金		15,769,865	15,607,811	15,408,628	15,559,548
合 計		72,671,675	72,872,722	72,565,370	72,775,645

### (2) 日本赤十字活動資金募集実績額

(単位：円)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目 標 額		24,576,000	24,586,000	24,492,000	24,381,000
実 績 総 額		31,689,581	32,138,609	35,192,211	37,329,655
内訳	会 費	28,808,681	28,879,609	28,593,211	30,137,155
	法 人 会 費	709,700	1,124,000	2,197,000	1,142,000
	高 額 寄 付 金	1,949,200	2,085,000	4,402,000	6,000,000
	事 務 局 受 入	222,000	50,000	0	50,500
目標額に対する割合		129%	131%	144%	153%

### (3) 世界赤十字デー奉仕活動実績

(単位：人)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施奉仕団数	0	6	10	9
延べ人数	0	1,059	1,411	552

令和2年度：新型コロナウイルス感染症の影響により中止

令和3年度：実施期間を12月迄延長し実施

(4) 赤十字講習会実施実績数

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数	救急法	1回	0回	0回	7回
	幼児安全法	3回	2回	8回	3回
	健康生活支援講習	5回	0回	1回	4回
受講者総数		212人	36人	163人	552人

救 急 法 : AEDの使い方、心肺蘇生法

幼 児 安 全 法 : 子供に起こりやすい事故への対処法

健康生活支援講習 : 災害時の対応、高齢者に起こりやすい事故の予防と手当

(5) 災害救援物資配布実績数

(単位:件)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
火災見舞世帯(半焼・全焼)	22	13	8	14
水害見舞世帯(全壊・床上浸水)	172	240	2	458
その他世帯(震災避難)	0	0	0	0

※災害救援物資交付基準表

災害内容	毛布/タオルケット	タオルセット	緊急セット	医薬品セット
全焼・全壊・流失	1人につき1枚	1世帯2組	1世帯1組	1世帯1組
半焼・半壊・床上浸水		1世帯1組		

※毛布:1~6月・10~12月/タオルケット:7~9月(令和2年度より)

(6) 献血事業実施実績数

(単位:人)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
地 域	3,345	3,123	3,103	2,975	校区38校区、56回、2,318人 ライオンズクラブ 9回、657人
職 域	3,629	2,818	2,668	2,360	官公庁、自衛隊、病院、企業等
学 域	534	759	678	781	久留米大学、久留米工業大学、久留米高等技術専門学校、私立祐誠高校、私立久留米学園高校、県立明善高校、県立三潴高校、市立久留米商業高校
街頭	—	—	5,723	5,839	ゆめタウン久留米 (献血支援パートナー協定締結/令和4年10月24日)
合 計	7,508	6,700	12,172	11,955	